

2018年3月15日
一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)

2018年度 電気機器の見通し

一般社団法人 日本電機工業会(JEMA)では、2018年度 電気機器の見通しを取りまとめましたので、以下のとおりご報告いたします。

1. 電気機器の状況

(1) 2017年度の状況

2017年度の世界経済は、中国の安定的な成長、米国・ユーロ圏等の先進国の着実な回復など、全体として緩やかな回復基調が継続しました。わが国経済については、世界経済の回復を受け堅調であり、年度を通し安定して推移しました。

重電分野は、IoTを含めた生産設備や自動車・スマートフォン向けの電子部品・半導体の需要増などを背景とした国内及び中国を中心とするアジアでの旺盛な設備投資を受け、好調に推移しました。白物家電分野は、消費者の省エネ・高付加価値製品に対する関心が継続したことから堅調に推移しました。

このような中、2017年度の重電・白物家電機器を合わせた電気機器の国内生産は、5兆7,691億円、前年度比107.6%と2000年度以来の水準となる見込みです。また、白物家電機器の国内出荷は、2兆3,729億円、前年度比101.9%となる見込みです。

(2) 2018年度の見通し

2018年度の世界経済は、回復局面が続くとみられています。わが国経済についても、世界経済の回復を受け、外需や設備投資を中心に緩やかな回復が続くとみられています。

重電分野では、引き続き、国内・海外の電力向けの堅調な推移や、産業用汎用電気機器における前述の背景による設備投資の活況が継続するとみています。白物家電分野は、買替え需要に加え、少人数・高齢世帯の増加、ライフスタイルの変化などの消費者ニーズを捉えた省エネ・高付加価値製品に対する関心が継続し、堅調に推移するとみています。

このような中、2018年度の重電・白物家電機器を合わせた電気機器の国内生産は、5兆8,263億円、前年度比101.0%となる見通しです。また、白物家電機器の国内出荷は、2兆3,436億円、前年度比98.8%となる見通しです。

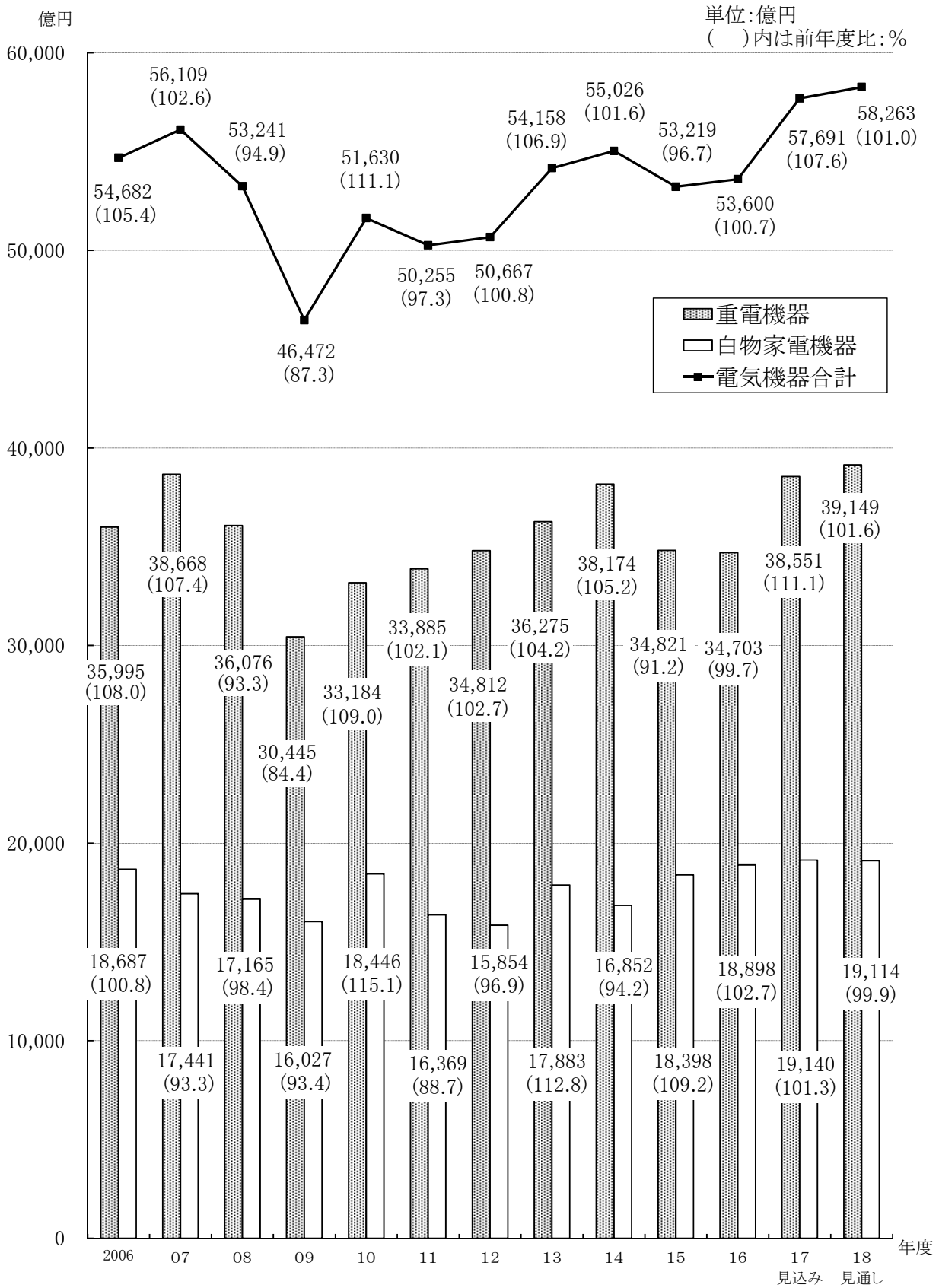
【表1】電気機器の2017年度実績見込みと2018年度見通し

		2017年度実績見込み		2018年度見通し	
		金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
国内 生産	重電機器	38,551	111.1	39,149	101.6
	白物家電機器	19,140	101.3	19,114	99.9
	電気機器合計	57,691	107.6	58,263	101.0
白物家電機器国内出荷		23,729	101.9	23,436	98.8

備考1: 国内生産の実績見込み・見通しは、経済産業省 生産動態統計をベースにJEMAが策定しました。

2: 白物家電機器の国内出荷の実績見込み・見通しは、JEMA統計、日本冷凍空調工業会統計をベースに、JEMAが策定しました。

3: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。



【図1】電気機器の年度別国内生産額推移

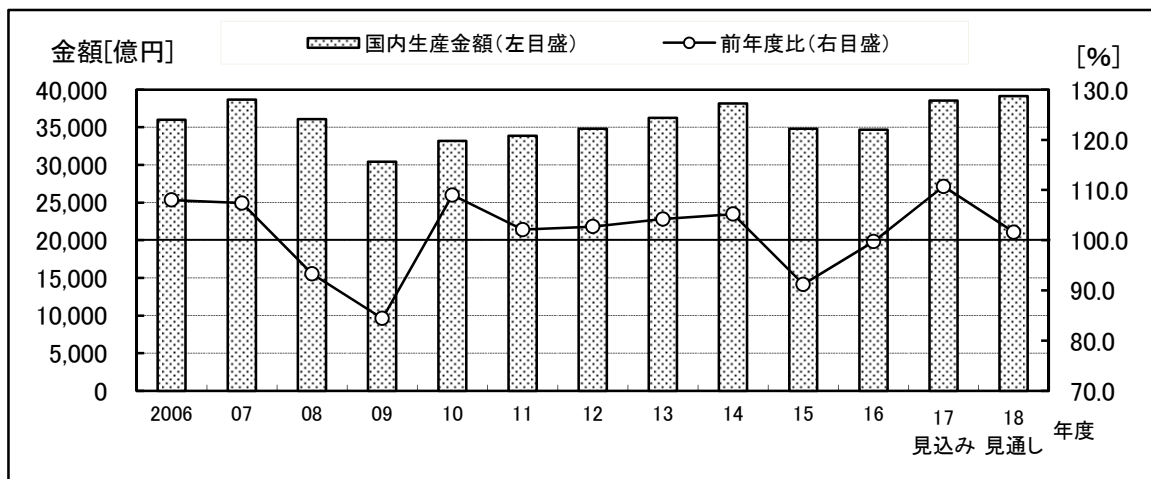
2. 重電機器分野

【表2】重電機器の国内生産 2017年度実績見込みと2018年度見通し

	2017年度実績見込み		2018年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
発電用原動機	6,289	126.8	5,050	80.3
ボイラ	3,344	235.2	2,330	69.7
蒸気タービン	1,464	63.3	1,225	83.7
ガスタービン	1,482	121.1	1,495	100.9
回転電気機械	9,835	108.8	10,449	106.2
うち、交流発電機	853	88.4	951	111.4
うち、交流電動機	3,903	119.4	4,181	107.1
うち、サーボモータ	1,174	124.5	1,251	106.6
静止電気機械器具	7,460	108.1	7,889	105.8
うち、変圧器	2,131	97.4	2,268	106.4
うち、電力変換装置	4,619	117.1	4,884	105.7
うち、サーボアンプ	2,010	140.5	2,142	106.6
開閉制御装置	14,967	108.4	15,762	105.3
うち、閉鎖形配電装置	2,418	120.9	2,554	105.6
うち、監視制御装置	2,410	107.1	2,594	107.7
うち、低圧開閉器・制御機器	5,118	111.2	5,326	104.0
うち、プログラマブルコントローラ	1,365	116.9	1,400	102.6
重電機器合計	38,551	111.1	39,149	101.6

備考1:実績見込み・見通し値は、経済産業省 生産動態統計をベースに、JEMA が策定しました。

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計が一致しない場合があります。



【図2】重電機器の年度別国内生産額推移

(1) 2017年度の国内生産実績見込み

2017年度の国内生産は、3兆8,551億円、前年度比111.1%となる見込みです。

発電用原動機は、6,289億円、前年度比126.8%と増加する見込みです。ガスタービンは輸出中心に増加する見込みです。石炭火力発電向け案件が停滞しており、蒸気タービンは国内、輸出ともに減少する見込みです。ボイラも同様の状況にあります。かねてより計画されていた国内電力向け大型案件の生産により、大幅な増加となる見込みです。

回転電気機械は、9,835億円、前年度比108.8%と増加する見込みです。交流電動機は国内工場の省力化需要により大幅な増加となる見込みであり、サーボモータは半導体及び液晶・有機ELの製造装置向けなど国内及び中国を中心とするアジアでの設備投資の活況により、大幅な増加となる見込みです。一方、交流発電機は、石炭火力発電向け案件が国内、輸出ともに停滞しており減少する見込みです。

静止電気機械器具は、7,460億円、前年度比108.1%と増加する見込みです。電力変換装置は太陽光向けパワーコンディショナが低調であるものの、サーボアンプはサーボモータと同様好調であり、増加する見込みです。一方、変圧器は国内電力向けを中心に減少する見込みです。

開閉制御装置は、1兆4,967億円、前年度比108.4%と増加する見込みです。閉鎖形配電装置は2020年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据えた大都市再開発が本格化し、増加する見込みです。また、低圧開閉器・制御機器はプログラマブルコントローラが国内及び中国を中心とするアジアでの設備投資の活況により好調であり、増加する見込みです。さらに、監視制御装置は製造業向けの需要回復により、増加する見込みです。

(2) 2018年度の国内生産見通し

2018年度の国内生産は、3兆9,149億円、前年度比101.6%となる見通しです。

発電用原動機は、5,050億円、前年度比80.3%と減少する見通しです。ガスタービンは、国内電力向けを中心に前年度並みとなる見通しです。一方、ボイラ及び蒸気タービンは国内、輸出ともに石炭火力発電向け案件の停滞が継続し、減少する見通しです。

回転電気機械は、1兆449億円、前年度比106.2%と増加する見通しです。交流電動機及びサーボモータは、前年度と同様の好環境が継続し、増加する見通しです。また、交流発電機は、国内電力向けを中心に増加する見通しです。

静止電気機械器具は、7,889億円、前年度比105.8%と増加する見通しです。電力変換装置は、前年度に引き続き、サーボンプがサーボモータと同様に好調であり、増加する見通しです。変圧器は国内電力向けを中心に増加する見通しです。

開閉制御装置は、1兆5,762億円、前年度比105.3%と増加する見通しです。閉鎖形配電装置は大都市再開発の本格化、低圧開閉器・制御機器はプログラマブルコントローラの好調、監視制御装置は国内の電力向けや製造業向けの需要好調により、前年度に引き続き増加する見通しです。

[参考] 受注形態別の重電機器 2018年度の生産見通し

【表3】重電機器の国内生産 2017年度実績見込みと2018年度見通し(受注形態別)

	2017年度実績見込み		2018年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
受注生産品*1	16,455	112.5	15,916	96.7
発電用原動機	6,289	126.8	5,050	80.3
電力・産業向け電気設備	10,166	105.2	10,866	106.9
産業用汎用電気機器*2	15,302	115.3	16,009	104.6
その他の重電機器*3	6,793	99.9	7,224	106.3
重電機器合計	38,551	111.1	39,149	101.6

*1 受注生産品

発電用原動機: ボイラ、蒸気タービン、ガスタービン

電力・産業向け電気設備: 電力及び産業(自動車、鉄鋼等)向けの発電機、電動機、変圧器等

*2 産業用汎用電気機器: 汎用インバータ、サーボモータ、プログラマブルコントローラ等。

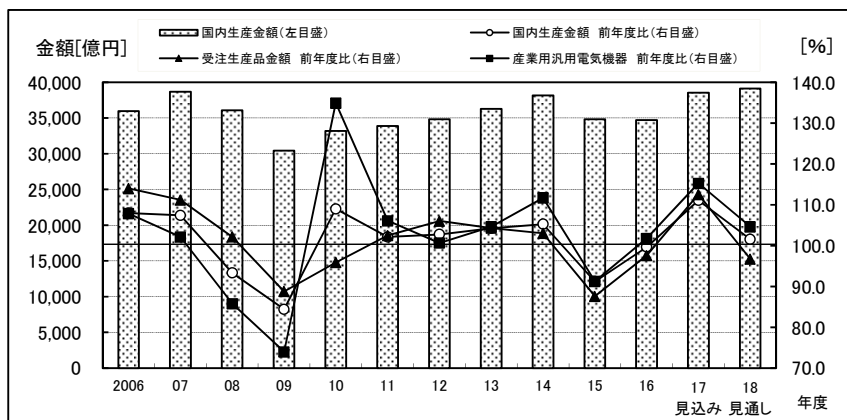
需要先が多岐にわたる、主に標準仕様で生産する量産品。流通は代理店経由が多い。

*3 その他の重電機器: 電気炉、電気溶接機、分電盤等。

機器としては受注生産品または産業用汎用電気機器であるが、データとして分類できない機器。

備考1: 実績見込み・見通しは、経済産業省 生産動態統計をベースに、受注形態別にJEMAが策定しました。

2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計が一致しない場合があります。



【図3】重電機器の年度別国内生産額推移(受注形態別)

3. 白物家電機器分野

3.1 国内出荷の状況

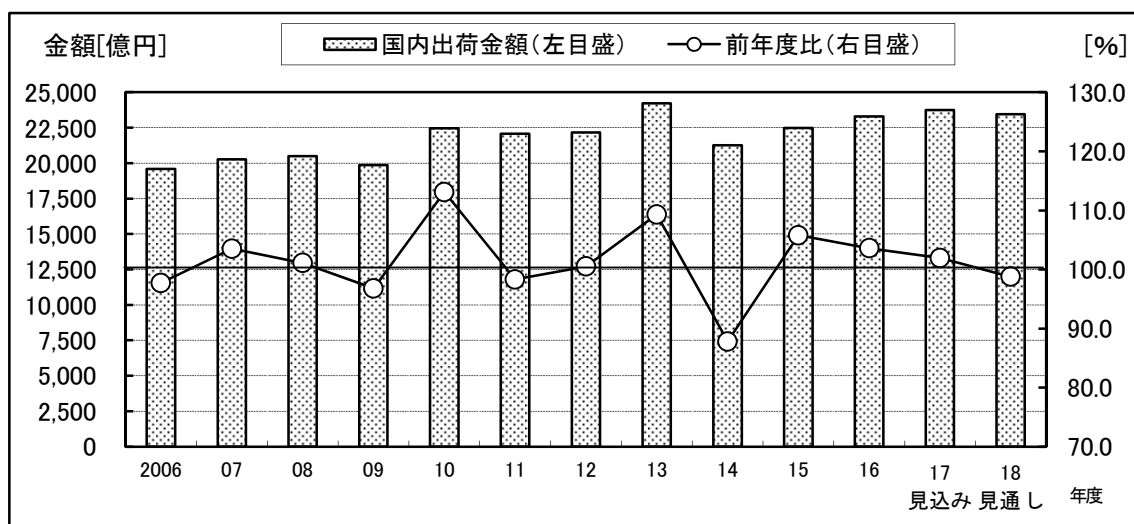
【表4】白物家電機器の国内出荷 2017年度実績見込みと2018年度見通し

	2017年度実績見込み		2018年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
ルームエアコン	7,132	102.8	6,803	95.4
電気冷蔵庫	4,421	103.8	4,380	99.1
電気洗濯機	3,353	101.9	3,404	101.5
電気掃除機	1,052	97.7	1,052	100.0
ジャー炊飯器*	1,181	95.3	1,167	98.8
その他(上記5品目以外)	6,590	101.8	6,630	100.6
白物家電機器合計	23,729	101.9	23,436	98.8

*ジャー炊飯器: 保温機能(ジャー)がついた電気炊飯器。おかゆ兼用ジャー炊飯器を含む。

備考1: 実績見込み・見通しは、JEMA 統計、日本冷凍空調工業会統計をベースに、JEMA が策定しました。

2: 端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。



【図4】白物家電機器の年度別国内出荷額推移

(1) 2017年度の国内出荷実績見込み

2017年度の国内出荷は、2兆3,729億円、前年度比101.9%と3年連続で前年度を上回る見込みです。

主要製品別にみると、ルームエアコンは、昨夏は西日本がやや暑かったことやこの冬の寒冷地における需要増などもあり、102.8%と好調に推移する見込みです。また、電気冷蔵庫は103.8%、電気洗濯機も101.9%と前年度を上回る見込みで、いずれも大容量製品が堅調です。一方、電気掃除機はたて型(スティック型)が好調を維持しているもののキャニスター型の減少により97.7%、ジャー炊飯器は水準は高いもののインバウンド需要の落ち着きもあり、95.3%と前年度を下回る見込みです。

(2) 2018年度の国内出荷見通し

2018年度の国内出荷は、2兆3,436億円、前年度比98.8%と4年ぶりに前年度を下回る見通しです。

主要製品別にみると、ルームエアコンは2017年度の水準が高かったこと、また、天候は平年並みとみていることもあり95.4%と、前年度を下回る見通しです。電気冷蔵庫は99.1%、電気洗濯機は101.5%、電気掃除機は100.0%、ジャー炊飯器も98.8%と、前年度並みの水準を維持する見通しです。

白物家電機器は買替え需要を主体としており、少人数・高齢世帯の増加、ライフスタイルの変化などの消費者ニーズを捉えた製品を中心に堅調に推移する見通しです。

3.2 国内生産の状況

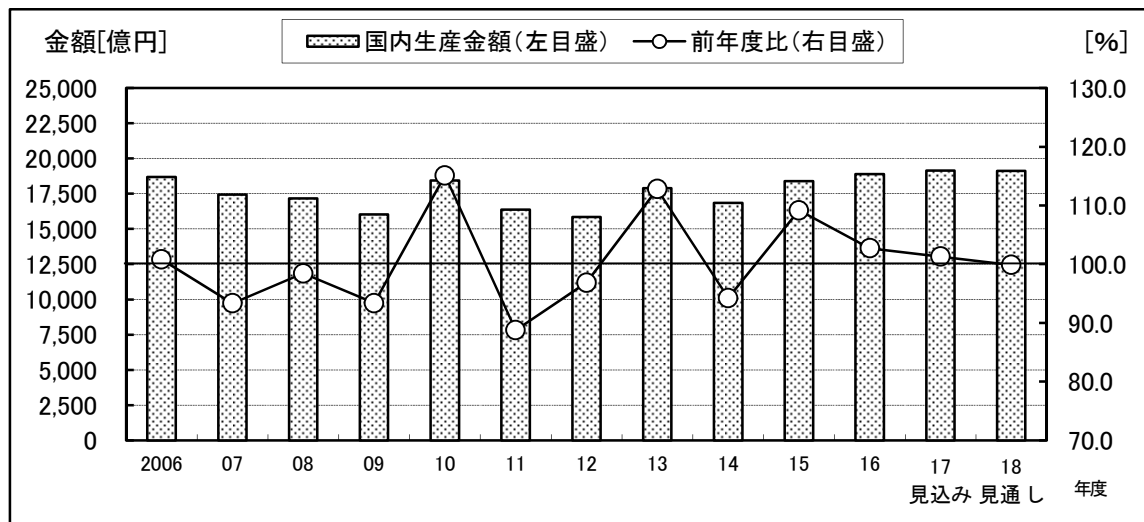
【表5】白物家電機器の国内生産 2017年度実績見込みと2018年度見通し

	2017年度実績見込み		2018年度見通し	
	金額 (億円)	前年度実績比 (%)	金額 (億円)	前年度実績 見込比(%)
ルームエアコン	5,689	101.0	5,674	99.7
電気冷蔵庫	2,768	103.7	2,753	99.5
電気洗濯機	736	100.7	743	100.9
電気掃除機	428	103.2	425	99.2
電気がま*	807	99.8	802	99.4
その他(上記5品目以外)	8,712	100.8	8,717	100.0
白物家電機器合計	19,140	101.3	19,114	99.9

*電気がま:ジャー機能(保温機能)のないものも含む。

備考1:実績見込み・見通しは、経済産業省 生産動態統計をベースに、JEMA が策定しました。

2:端数四捨五入のため、積上げ値と合計値が一致しない場合があります。



【図5】白物家電機器の年度別国内生産額推移

(1) 2017年度の国内生産実績見込み

2017年度の国内生産は1兆9,140億円、前年度比101.3%と、3年連続で前年度を上回る見込みです。

主要製品別にみると、ルームエアコンが101.0%、電気冷蔵庫が103.7%、電気洗濯機が100.7%、たて型(スティック型)タイプが好調の電気掃除機が103.2%と増加、電気がまは99.8%と前年度並みの見込みです。

(2)2018年度の国内生産見通し

2018年度の国内生産は、1兆9,114億円、前年度比99.9%と、前年度並みの水準を維持する見通しです。

白物家電に対する消費者ニーズは、引き続き省エネ性能、高機能、高付加価値製品に注目が集まっており、大容量製品や高機能、高付加価値製品を主体にしている国内生産は堅調に推移する見通しです。

本資料に関する弊社お問い合わせ先

- 〔重電機器〕 TEL:03-3556-5885 FAX:03-3556-5890
重電部(調査統計課 市村・角田・細田)
- 〔家電機器〕 TEL:03-3556-5887 FAX:03-3556-5891
家電部(調査統計課 宮内)
- その他 TEL:03-3556-5882 FAX:03-3556-5891
企画部(広報室 中村・竹本)

URL : <http://www.jema-net.or.jp/>